

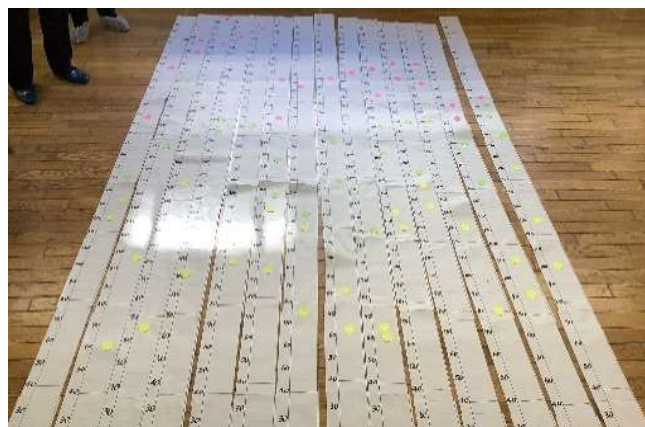
3年生

3年1組 どこまで飛ぶの？ 3-1 Bird～風とゴムの力の働き～

ゴムの長さを変えたら Bird が飛ぶ距離はどのように変わるのか調べました。ゴムを伸ばす長さを 3 cm、6 cm、9 cm に変えて実験をしました。3つの結果をもとにして、「ゴムを伸ばす長さを長くすると、バードが飛ぶ距離は長くなる。ゴムを伸ばす長さを短くすると、バードが飛ぶ距離は短くなる」という結論を出していくことができるような授業をしました。

子どもたちは複数の結果を比べ、「ゴムの働きで、身長より高い長さまで飛ばすことができる。」「結果がずれた時は、再実験すると科学的に考えることができる。」と考えていました。

講師の先生からは、「結果を分析的にみている。」「科学的（客観性と再現性）に考えることができるようになってきている。」「自己の変容を実感するための振り返りをしている。」と子どもたちへの評価をいただきました。



3年2組 音を出すとおどり出す？ふるえ出す？～音の性質～

物は、音を出すと震えるのかについて、これまでの学習を振り返り、音と震えの関係を調べたい物を決め、実験結果を共有することで、音を出すと物は震えるといえるのか、科学的に考える姿を目指しました。

本時では、太鼓は大きな音を出すと、叩いた場所だけでなく、反対側も震えることに気づき、太鼓の中の空気が震えて反対側の面にも伝わっていることを結果で発表していました。音を出すと、何が震えるのかをベン図にまとめました。振り返りでは、「今まで音についてあまり考えたことがなかったけど、音は物や空気が震えて出ていることを初めて知った！」という発言がありました。



3年3組 わたしたちの光 ～光の性質～

的当てゲームで遊んだことを通して、光の性質についての問題を見だし、問題解決していくことを目指しました。

本時では、いくつかの遊びから「反射させた光はどのように進んでいるんだろう。」「反射させた光を重ねると、明るさや温かさがどうなるんだろう。」などの問題を見だしました。子どもたちが遊びを工夫して問題を見出す姿があり、講師の鈴木先生から「子どもたちの遊びのアイデアがまさに光り輝いていた。」と価値づけしていただきました。

